

30周年記念誌

大阪年金者組合の歩み 2014. 3～2019. 3



全日本年金者組合大阪府本部



もくじ

	ページ
発刊にあたって	1
お祝いのメッセージ	2-3
全日本年金者組合大阪府本部結成30周年に寄せて 詩「起ち上がろう 高齢者」	4
座談会・年金者組合の歩みを語る	5-8
ダイジェスト・大阪年金者組合30年の歩み	9
活動の記録	
2014年度	10-11
2015年度	12-13
2016年度	14-15
2017年度	16-17
2018年度	18
共済の歩み	19
女性部の歩み	20-21
支部からのお祝いメッセージ	22-25
生活支援・まちづくり運動	26-30
編集後記	31



発刊にあたって

全日本年金者組合大阪府本部
執行委員長 加納 忠

大阪府本部結成以来30年にわたるすべての組合員の皆さま、各期の府本部、各支部の役員として運動を支えていただいたすべての皆さまに心から感謝申し上げます。

年金者組合は、より自由な、より豊かに生きて行ける社会をめざして結成され、健康で楽しい高齢期を過ごすことのできる社会を地域からつくりだそうと各支部で運動を進めてきました。

当初、500人で発足した府本部は、現在1万人近くの組合員数となり、地域の連帯と助け合いの輪を広

げ、年金制度をはじめとした社会保障、平和と民主主義、人権を進める運動を積み重ねてきました。

この30年の運動、“年金引き下げ違憲裁判運動”など私たちのとりくみで、年金

すんでいます。

「金がすべて、今さえよければ、自分さえよければ」と、地域の人間関係を切断する社会の在り方が問われています。

この30周年記念誌に寄せられた貴重な記録を、これからの私たちの運動にご活用いただきますようお願いいたします。ご挨拶とします。

30年の記憶を生かす運動を

者組合の社会的影響力を拡げることができたと思えます。

同時に、9条をはじめとした日本国憲法を骨抜きにする動きが強まり、社会保障削減の裏で軍事増強がす

2019年5月

全日本年金者組合

大阪府本部執行委員長

加納 忠



経験を運動の蓄積生かし飛躍を



お祝いの
メッセージ

大阪府本部30周年、
新たな飛躍つくろう



全日本年金者組合
中央執行委員長
金子 民夫さん

日本年金者組合大阪府本部
結成30年は飛躍、苦闘、要求
運動前進の中で迎えました。
府本部は1989年3月、5
00人余で結成、全国は同年
8月、1万2600人で結成
されました。

年金者組合は、高齢者の権
利を守る組合として、社会保
障制度の改善、最低保障年金
制度の創設、消費税増税反対
などを掲げて国民的な運動を
展開してきました。

この間、大阪府本部は23回

大会時で1万92人まで到達
11万6615人に達する上で
大きな貢献をしました。23回
大会後の苦闘を实らせ今大会
30周年を期して1万人体制を
めざされています。「かがや
け命の行進」で掲げた「少年
に夢を！青年に雇用を！障が
い者に光を！高齢者に安心を」
は今でも国民的要求になって
います。

年金裁判では生存権守らな
い年金引き下げは憲法違反と
国を追い詰めています。30周
年を機に1万人突破、国民的
要求実現のために地域の隅々
まで年金者組合運動を発展さ
せましょう。

経験と運動の蓄積 生かし一層ご活躍を



全大阪労働組合
総連合議長
菅 義人さん

結成30周年、おめでとうご
ざいます。高齢者のいのちと

くらしを守り、ひとりぼっち
の高齢者をなくす、みなさま
のご活躍に心より敬意を表し
ます。

安倍政権の暴走と劣化の下、
憲法が脅かされ、国民生活の
改善と経済の回復は見通せず、
大阪でも維新政治により府民
生活の厳しさは深刻さを増し
ています。

この中で、年金引き下げ違
憲訴訟をはじめとした貴組合
のたたかいは、文字通り憲法
を守り活かすたたかいとして、
極めて重要です。

今年11月、大阪労連も結成
30周年を迎えます。たまたかう
労働組合の役割とこれまでの
歴史に確信を持ち、さらに奮
闘していく決意です。

貴組合とみなさまの今後の
ご活躍をご祈念申し上げ、お
祝いのメッセージとさせてい
ただきます。



社会保障運動への 協力に感謝



大阪社会保障推
進協議会議長
井上謙二さん

私たちの生活や医療・福祉を
守るのが行政の責任です。

安倍政権のもとで、社会保
障制度は自助・互助・共助に変
えられ、自己責任が強調され
ています。

一方で軍事費は5兆円を超
え増え続けています。199
0年に大阪社保協は再建され、
「人間らしく生きるために」
をかかげ運動を続けてきまし
た。現在では大阪府下に地域
社保協ができ、地域住民の生
活と医療・福祉を守る砦の役割
を果たして来ました。

安倍政権や大阪の維新政治
のもとで、ますます社保協の
存在意義が増してきています。
後継者をつくりながら運動を
継続させていきましょう。

地域で頼りになる年金者組合へ

年金者組合の存在感 示した30年



訴訟士
憲団護
違護弁
額弁之
金大阪
大局長
務大崇
喜田

全日本年金者組合大阪府本部の皆様、結成30周年おめでとうございます。

年金裁判を提訴してから、早や4年半が過ぎました。皆様、これまで裁判闘争をはじめ、様々な運動や学習会にご尽力されてこられましたことに敬意を表します。

裁判を通じて感じることは、複雑な年金制度に国民がついていけず、制度改悪の怒りを国民全体が共有できていないという点です。世代・立場を超えて、「改悪やむなし」の空気を打破し、社会保障の権利獲得のために連帯しなければなりません。そのために私も、若い世代の一人として、皆様と共に尽力していければ

と考えています。
貴組合のますますの発展をお祈り申し上げます。

暮らした権利を守る運動で連帯した闘いを



健と連
生活会
生守長
大を会
全大会
大口耕
吉郎さん

全日本年金者組合大阪府本部の結成30周年、おめでとうございます。

安倍自公政権による社会保障の連続改悪に対する貴組合員のご奮闘に心から敬意を表します。

とくに、みなさま方がとりくんでおられる年金引き下げに反対する集団訴訟は、私たちがとりくむ生活保護基準引き下げ違憲訴訟への激励になっています。

日本の三大所得保障である賃金・年金・生活保護が崩されようとしています。今ほど

憲法25条の「健康で文化的な」生活保障の確立が求められているときはありません。そのための労働運動と社会保障が一体となった闘いが重要になっています。
こうした情勢のもとでの貴組合のさらなるご活躍に期待します。

大阪労連共済拡大に 大きく貢献



大阪労連共済会
常務理事
前村 和宏さん

大阪年金者組合結成30周年おめでとうございます。貴組合が日夜、平和と民主主義、人権を守る闘いに奮闘されていることに心より敬意を表します。また平素は、大阪労連共済の事業業務へのご理解とご支援有り難うございます。さらに、加入者拡大にも大きく貢献して頂いていることに

心よりお礼を申し上げます。
安倍自公政権のアメリカ言いなりに、大企業・財界、大金持ち優遇政治から憲法を遵守し国民・高齢者・労働者が安心して働き、生活できる政治に転換させるチャンスが到来しています。貴組合のさらなる発展とご奮闘を期待し、組合結成30年の御祝いの言葉とさせていただきます。

「祝30周年」

高槻支部 山田美智子

をたけび上げて

進めて行こう

躍るは胸の高まりか

るつぽにたぎる思いの
たけを

なもなき庶民

ら 手をたずさえて

さあ、とぎれなく平和
求めて



詩

全日本年金者組合大阪府本部結成30年によせて

大阪年金者組合・前執行委員長 永井 守彦

老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるときに、生きがいをもてる健全で安らかな生活を保障されるものとする・老人福祉法 Ⅱ 汝の価値にめざめよ

起ち上がる高齢者

高齢者よ起ち上がろう

1988年11月17日

年金者組合結成をと呼びかける11氏

呼応せし大阪1989年3月18日

500人が一歩を刻む

全国24都道府県1万2696人の隊列

人間らしく生きる社会を



高くかかげし

生活できる最低保障年金制度を

高齢者比1%めざして

全都道府県に確立せし組織12万の隊列

大阪64支部1万人組合員

年金一揆の叫び全国にとどろく

かがやけ命の行進

大阪城公園から日比谷公園めざす

“楽しみ7分 活動3分” かけ

高齢者・なканずく人間の尊厳求めて

年金者組合30年のあゆみ

誰がための後期高齢者医療保険ぞ

老老介護・介護殺人 涙かれて

下流老人・老人漂流社会

追いつがごとく安倍政治7年

削減されし年金4%・2兆円

長寿は社会にとつては負担だと
シルバー民主主義だと

世代間格差をおおる言説の拡散

高齢者の尊厳おとしめるな

年金世界ランキング29位

国連勧告をも無視する政権

年金削減自動装置

マクロ経済スライド・キャリアオーバー

若者も高齢者も安心できる年金を

国のあり姿問わんと

いどみし年金削減違憲訴訟

主権者としての剣かざして

怒りよ割れて砕けて裂けて飛びちれ



年金者組合の歩みを語る



《出席者》

中矢道一さん（府本部特別執行委員）

久末道子さん（元府本部執行委員・
枚方支部女性部副部長）

加納 忠さん（府本部執行委員長）

写真、左から中矢・久末・加納さん

全日本年金者組合大阪府本部が結成されて、今年3月18日で30周年を迎えます。結成直後から今日まで運動に携わってこられた中矢道一さん（現・府本部特別執行委員）、久末道子さん（枚方支部女性部副部長）、加納忠さん（府本部執行委員長）に、この間の思い出や運動の特徴、今後の年金者組合のめざす方向などについて語っていただきました（座談会日時：2019年3月8日 年金者組合大阪府本部会議室）。

■イタリアの年金者組合を参考に

組織

中矢 1989年3月18日に谷町の「社会福祉指導センター」で大阪年金者組合の結成大会が行われました。年金者組合を組織するとき、参考にしたのがイタリアの年金者組合です。私は2000年から府本部の執行委員をしましたが、枚方支部の杉澤留吉さん（当時、府本部副委員長を団長としたイタリア訪問団の

大変驚いたことに、イタリアの年金者組合は地域に根を張っていて、行政に対しても大きな発言力をもっていました。この点が我々と決定的に違う点でした。



中矢 道一さん

一員としてイタリアに行き、フィレンツェの小さな村の年金者組合と交流しました。



久末 道子さん

久末 建設省を54歳で退職し、すぐに年金者組合に入りました。1997年に支部の事務局長を兼ねながら府本部女性部の副部長になり、組織部や文化行楽部を担当しました。

2002年から府本部執行委員になりましたが、当時の役員さんは労働組合役員経験者が多く、いかに労働組合色をなくすかに努力したのを覚えています。しかし、当初は上意

下達の運営で、これでは地域に受け入れられないだろうと思いました。
加納 社会保険事務所を退職して、すぐに高槻支部に加入。2007年から府本部の執行委員を皮切りに、書記次長、書記長、執行委員長を歴任し今日に至っています。

年金者組合は「労働」という言葉は入っておらず、高齢者・年金受給者を主とした地域住民・市民の「組合」であると同時に、全国労働組合総連合（全労連）に加入し、地域を中心とした労働運動の一担を担っています。労働運動と住民・市民運動をつなぐ大切な役割があります。地域全体の運動や市民運動の担い手にもならなければならないと思います。

中矢 日本は企業別組合で定年があるが、イタリアは産業別労働組合で定年がない。年金者組合と普通の労働組合と二重加盟ができ、組合員は300万人いると言われています。現役労働者も年金に関わる問題は、高齢者だけでなく、自分たちの問題ととらえています。

私は日本の年金者組合は労働組合的な性格を持った団体であると理解しています。



第15回裁判で原告として意見陳述した久末さん(右)

■要求によって団結する組合

久末 枚方支部結成当初は、政治的な関心の強い60歳までの女性が多く加入してきましたが、その後は、家庭の主婦が多かった。女性部では学習を重視し、介護、年金、国保、老後問題、平和問題などの課題について学習しました。学習しないと現状に対する怒りがわいてこないし、運動にならない。府下唯一の宝である「入院見舞金制度」の廃止を市が打ち出したとき、直ちに反対署名と府の「医療費助成制度存続」署名とを平行して取り組みました。

2003ある地域老人会への申し入れも行い、市議会へ2800筆の署名を提出しましたが、この運動は老人会からも好意的に受け止められ、一致する要求で共同の足場を築くことができました。

中矢 支部として要求を集約し、市民運動として他団体とも共同して対市交渉を行うことが大事です。こうした取組みが要求実現の力になっていくし、要求づくりが必ず支部の力になると思います。

加納 年金者組合単独では運動の力も広がりも弱い。年金者組合の綱領には、「労働組合をはじめ要求で一致するすべての団体と共同し、世界の高齢者や働く人とも手を取り合つてすすみます」と謳っています。他団体との連携が大切です。



加納 忠さん

■生活者として目配りできる女性パワーに期待

久末 いま枚方支部は女性が6割を超えています。男性は労働組合で委員長をしていますが、近所の人は誰も知らない。女性部を結成して、組織が民主化されていきました。私が加入したとき60人だった組織が、13

年後(2006年)には500人を突破し、西日本最大の組織になりました。当時は組合員の7割を女性が占めていました。

加納 男性の多くは近所つきあいも苦手だが、女性は生活者としての目配りができる。欧米・アジアでも圧倒的に女性が進んで動かし原動力となっています。年金者組合の女性も地域のつながりを活用して高齢者のまちづくりをリードしてほしい。

中矢 中央本部主催で「大支部交流会」が開催されたが、300人を超える大支部は、どこも女性が過半数を占め、イキイキした活動が行われている。中央・地方支部で「役員の3分の1以上を女性に」と言い続けていて、やっといま府本部で26%という状況です。日本の女性国会議員数も、190カ国中156番目という低さである。

加納 現在、イタリア年金者組合の執行部は、すべてのレベルで両性の一方が40%以上であることが定められています。女性は社会性を持っている。誰でも気軽に付き合える。府本部全体でも、女性組合員が過半数を占めており、今後は支部でも積

私たちの綱領

日本国憲法は、全ての国民が個人として尊ばれ、平和の裡に生存する権利を保障しています。

私たち全日本年金者組合はこの憲法の理念を守り発展させ、より自由に、より豊かに生きていける社会をめざしています。

私たちは、高齢者をはじめすべての人にひらかれた組織として、思想・信条の違いをこえ、団結して行動します。

(一) 私たちは、要求で結集し、みんなの力を出し合って、その実現をはかり、心身ともに健康で楽しい高齢期をつくり出します。

(二) 私たちは、国と大企業の責任ですべての国民が健康で文化的な生活を保障されるよう、年金・医療・介護・福祉など社会保障制度の確立をめざします。

(三) 私たちは、全国の地域に根を貼り、地域を基礎に運動をすすめます。

(四) 私たちは、労働組合をはじめ要求で一致するすべての団体と共同し、世界の高齢者や働く人とも手を取り合つてすすみます。

(五) 私たちは、核兵器のない平和・中立の日本を建設し、美しい地球を子や孫に残します。

極的に役員になっていくことが求められています。

中矢 同感です。仲間増やしでの重要な役割を今後も果たして欲しいですね。

久末 年金者組合は男女共同の運動なので、女性が役員になることは必要です。まだまだ男性社会であるため女性の進出が難しいのが現状ですが、中心部分を女性が担わないと運動は変わらない。そういう意味で女性の役割は大切です。



女性部によるフラッシュモブ宣伝
(2016年金一揆・なんば)

■年金問題を国民的課題に

久末 「楽しみ7分、活動3分」と言われますが、「楽しみ7分」ばかりになっていないかということも

あります。「活動3分」を軽視して他人任せでは、地域住民の要求・要望なども実現しないのではないのでしょうか。

中矢 運動の総括や取組みの反省が弱いということです。総括をきちんと行なうことによって、次回の取組み方が見えてくる。

久末 創立当時は最低保障年金制度が問題になっていましたが、未だに実現していない。年金者組合が政策を作っていくのが基本で、地道な運動を展開していくことが必要です。年金裁判はまだ国民的な運動になっていない。「支援する会」の少なさがそれを物語っています。

加納 女性は低賃金、性差別、低年金などしんどい思いをさせられている。国連の社会権規約委員会は、年金制度の事実上の男女格差を可能な限り改善し、最低保障年金制度を導入することを日本の政府に勧告しています。

年金裁判のポイントの一つは、当初から言われているように「政策形成裁判」として取り組むことです。「朝日訴訟」も当初は、労働界や民主体から冷ややかに扱われてい



年金裁判報告集会で永井団長

ました。10年間の闘いの中で国民的なレベルまで運動を押し上げ、当時の生活保護基準を大幅に引き上げ、「生存権」、憲法25条を生かす運動を築きました。年金裁判も年金問題を国民的課題にさせていくひとつの取組みです。それだけに、社保協、大阪労連など他団体、市民団体に働きかけて国民的な運動にしていくことが「朝日訴訟」から学ぶ教訓です。

中矢 最低保障年金制度実現のためにも、非正規問題、少子化問題、高齢者問題と絡めて訴えていくことが必要だと思えます。

■地域に根ざした「まちづくり運動」を

久末 本当に、高齢者の横のつながりをつくるのが大事ですね。枚方では1980年代から「老後保障

(六) 私たちは、日本の政治、経済、教育、文化の民主化のために力を尽くします。

【運動の基本点】①組合民主主義の徹底、組合員の意見、要求を基礎にした活動②生活と権利を守る運動に全力を挙げる③年金制度の改悪に反対し、生活できる年金制度の改善を目指す④核兵器廃絶と民主主義の擁護、革新統一のために奮闘する⑤全国単一で、地域を基礎にする個人加盟の労働組合として、その優れた特徴をあらゆる活動に役立て、日本の労働組合に新風をふかす⑥階級的ナショナルセンターの確立のため奮闘する。

【年金者組合統一要求】

①公的年金を改善し、健康で文化的に生活できる年金額にひきあげること②働きたい高齢者に、その意欲、経験、能力に応じた就労を公的に保障すること③すべての高齢者が健康に生き、疾病に際しては無料で適切な医療を受けられるようにすること④高齢者が健康で快適な生活が送れるよう環境、施設を改善拡充すること⑤高齢者が教養、知識を高め、社会活動への参加が保障されるよう必要な援助を行うこと⑥核兵器廃絶、平和・民主主義の擁護、国政革新と革新自治体の実現。

地域団体連絡会」をつくり運動を続けてきました。地域に根ざした運動が大事です。

5年前と情勢がちがってきて、高齢者にはますます厳しくなっています。いままでと違うスタイルの運動が必要です。沖縄全市での県民投票を呼びかけた若者たちのスタイルは、「上」からの指示待ちの運動ではなく、「下」からの運動であったために、ほんまもんの運動になっていた。女性は「下」からの発想ができやすく、それを大切にすすめていくことが重要です。

■沖縄との連帯運動進む

中矢 昨年、沖縄での高齢者大会が台風で中止になったとき、参加者からぜひ沖縄支援をしたいとの声



辺野古新基建設地反対協代表から話を聞く大阪代表团



「年金下げるな」「最低保障年金制度をつくれ」と宣伝

あり、年金者組合として辺野古新基地建設反対の支援をしようと提起した。100万円のカンパが寄せられ、100人が沖縄支援に参加するなど、大きく貢献したと思う。「運動をやっていたら、共感を呼ぶ」というのがこの取組みの教訓のひとつになりました。

■年金者組合の真価試されるとき

中矢 年金者組合が4000人のときに加入したが、現在1万人の組織になった。当時は専従も1人だけ。週の内、2〜3日しか当番がいなくて、電話をかけても誰も出ない。いまは常に3人くらい常駐しており、体制も運動も前進した。他団体からも頼りにされる年金者組合になった。これはすごいことだと思うが、これ

30年組合員

支部結成に参加して

高槻支部 山本 栄

高槻・島本支部結成の時、私は53歳で、まだ現役の労働者でした。少しでも大勢の方がいいからと、初代の支部執行委員長・吉田菊次郎さんに誘われて加入しました。

あれから30年、まだ元気に機関紙を配ったり、組合費

の集金をしたりしています。

遊び7分、活動3分の組合活動を、仲間とともに、豊かな老後をすごしておられるのも年金者組合のおかげと思っています。

しかし、2012年、2・5%の年金引下げが強行され、年金は減らされ続けているのは絶対許せない。今日の日本を築いてきたのは私たち高齢者です。「この罰当たりが」と怒りで震えています。

「年金裁判」はかならず勝利しましょう。高齢者いじめの安倍政権に一矢を報いましょう。

からが問題です。

イタリアなど世界の年金者組合から学ぶことも必要だし、組合費のあり方の検討や、社会的事業活動による支部財政の確立、オプザーバー参加の呼びかけ、年金問題の運動化など課題はたくさんあります。

加納 この30年を見ても組織は右肩あがりだったが、2017年以後、高齢者が増大しているのに、仲間増やしではカベにぶち当たっている。ワンランク上の運動を「下」

から構築していく必要がある。一昨年10月の「酒の座」など、地域連帯機構・ワーカーズとの協力、共同の取り組みの経験もあります。ワーカーズの映画で地域運動の勉強をぜひしたい。要求で一致する団体との連携をはかり、地域に根をはり、地域を基礎にした運動をどう作り上げていくかが、いま私たちに求められている課題です。

(進行・文責 記念誌作成委員 村崎秀子・鎌田修)

ダイジェスト

大阪年金者組合30年の歩み

1989年3月18日

戦争のさなかに育ち 戦後に新しい希望を抱く5000人の人びとで年金者組合大阪府本部は結成されました

私たちは知りました

侵略戦争は アジアの大地を蹂躪し 3000万の人命を奪い 日本も焦土に化したことを

武器では民衆の命、生活は守れないことを

だからこそ、年金者組合は 平和の裡に生存する権利を大切にしたい

だからこそ、日本国憲法、なかでも9条と25条を大切に活かしたい

平和は社会保障を支え、社会保障

は平和を支えます

2002年、大阪府本部は 念願の5000人に

“儲ければ何でもあり” “自分さえよければ”の風潮に 労働運動が分断されるなか

非正規雇用が蔓延し 格差と貧困が広がって

家族、人間のつながりも切断され 孤立した高齢者世帯が増えていく

私たちは、孤立無援の高齢者を取り残さない

より自由に、より豊かに生きていく社会をめざします

結成以来の“楽しみ7分、活動3分”

楽しみ・遊びは文化のみならず 多様なサークル、クラブで仲間を増やします

2012年5月30日

大阪城から東京日比谷公園へ 東海道600キロ 22日間の「輝け命の行進」

「市民のみならず、私たちは年金者組合です。年金下げるな！消費税増税するな！少年に夢を青年に雇用を 障がい者に光を高齢者に安心を 人間らしく暮らせる社会の実現を求めて 輝け命の行進をしています」

民家の窓越しに 手を合わせ深々と黙礼する女性 沿道の人々の胸を打ち 毎日の「行進ニュース」は 全国の組合員を励ました

2014年3月 大阪府本部は一人を超えました

年金引き下げは憲法違反！ 2015年8月、2016年8月

と 2次にわたって国を訴えた 109人の大阪原告団

「若者にまともな年金制度を渡したい！」 「最低保障年金制度を制定せよ！」 仲間の声が 大阪地裁に響きます

懸命に生きた半生を 心を込めて語る原告陳述に 大法廷で聞き入る人々は 胸の内 いっぱいの共感の拍手で応えた

安倍内閣の「戦争法」 国会審議中の提訴 戦争させない、憲法壊すな、年金下げるな！

戦中、戦後を生き抜いて 「いま黙っていられない」 マイクで訴える組合員の声が 環状線駅頭に響きます

地域を変え、社会を変えるまちづくり

私たちは、労働運動と住民、市民運動をつなぐ 地域に根ざした年金者組合をめざします

組合員1万人を達成し、 府本部結成25周年祝賀会

大阪府本部はこの10年、支部の皆さんとともに組織の拡大強化を図り、2006年・7000人達成祝賀会、2009年・8000人達成20周年祝賀会を開催してきました。これらの節目に続き、2014年3月には1万人を達成し、結成25周年を祝いました。

2013年末までの拡大月間(12月

27日9848人)を3月の25周年記念日まで延長し特別旬間として取り組み、祝賀記念日の午前10時ついに1万8人に到達、歴史的な瞬間を迎えることができました。東京・神奈川・埼玉に次ぐ1万人組織となりました。

4分の1世紀の節目に組合員はもろろん多くの民主団体とともに祝い、



1万人組合員を達成し25周年のレセプション

次のステップの足掛かりとする記念行事です。実行委員会では3つの委員会をつくりました(祝賀会、文化行事、25周年記念誌)。「サイボシ」の販売、「年金下げるな!



大阪城前で「最低保障年金制度つくれ」と宣伝

消費税あげるな!」のネーム入りタオル2300本も販売し財政的にも支えました。

府本部主催・組合学校に117人

1万人組織達成から次へのステップのために、各支部の若手役員育成を目的とした2日間の「年金者組合学校」を開催しました。

第1日(10月8日)は、午前2時間年金問題、午後3時間で介護問題、第2日(10月30日)は、午前2時間で医療問題、午後は3時間で年

組合のできごと

- 2014年
- 3・25 結成25周年祝賀会
1万人組合員達成
- 6・17～18 中央委員会
- 6・25 第一回中央本部年金訴訟準備会
- 8・25 第1回大阪府本部年金訴訟委員会
- 9・12～13 日本高齢者大会・富山
- 10・8、30 府本部「年金者組合学校」117人参加
- 10・9～10 近畿ブロック役員交流集会・和歌山
- 10・15 年金者一揆 in なんば
テレビ大阪で放映
- 2015年
- 2・19～20 近畿ブロック支部交流集会・奈良
- 4・23 原告団結成集会 団長に永井府本部執行委員長、副団長に松井・村崎両副委員長
- 5・17 大阪都構想住民投票
(反対が多数)
- 6・16 「年金110番」実施
相談件数165件 マスコミ10社が取材



「春の年金一揆」に参加したみなさん

金組合の活動交流を行い、参加者は述べ117人でした。

アンケートでは、あらためて学習の必要性が多くの参加者から述べられ、継続をのぞむ声が聞かれました。

マスコミも取材、700人の参加で年金一揆

10月15日、ならば高島屋前で年金一揆を開催しました。3時間のロングラン宣伝のため全体を3つのグループに分けて実施しました。第1ステージ・大阪市内・中河内ブロック、第2ステージ・北摂・北河内ブロック、第3ステージ・河南・泉州ブロック

で延べ700人近い組合員が結集し、中央舞台での音楽や訴え、のぼり、

プラスター、横断幕や、“年金下げな”のタオルなど、さまざまな工夫でマスコミも取材する大きな宣伝行動になりました。

NHKも放映、年金相談110番

6月15日、府本部は年金問題を世論に訴えるだけでなく、広く年金に係わる問題を市民の疑問や相談を受け付ける日として「年金110番」を設置しました。

事前にマスコミに案内、臨時電話3台と相談員8人（社労士資格者4人）を配置して対応しましたが、年金機構が6月1日に「個人情報流出101万件」を発表したため大きな怒りと関心を呼びました。

報道機関はNHK、毎日放送、関西テレビ、テレビ大阪、大阪民報など新聞・テレビ数社で取材と報道がされ、当日はNHKが2回、毎日テレビ、関西テレビでも放映されました。

「マクロ経済スライド」「年金個



「年金110番」には165件の相談が

人情報流失」問題を焦点に165件の電話相談が寄せられ、マスコミにも大きく取り上げられ、奈良、和歌山、兵庫、秋田在住者もニュースを見て電話をかけてきたり、組合加入相談もありました。

年金削減、年金行政、マイナンバーなど年金制度に対する国民の不安、怒り、関心は大きく広がりました。府本部ではこれを機会に今後「年金相談室」を設けることにしました。（個人情報流失は全国で101万人、大阪で9万6884人分）

社会のうきま

■2014年

4・1 消費税増税5%↓8%に紙台帳に残る13万人相当の「消えた年金」訪問調査

8・20 広島市北部安佐南・北両区で10カ所以上の土砂崩れ

8・27 御嶽山が7年ぶり噴火

10・27 大阪府・市両議会が否決

11・21 衆議院解散総選挙 47議席中、自公で325議席獲得

■2015年

4・1 マクロ経済スライド初導入 4月振込分から実質0・9%の年金削減実施

4・14 高浜原発再稼働認めず 仮処分決定・福島地裁

5・17 大阪都構想住民投票反対多数

6・1 日本年金機構、個人情報101万4653人分流出

6・17 18歳選挙権「改正公職選挙法」が衆院で成立

「安倍政治許さない、戦争法案反対」の行動全国で！

戦争法案を巡る国会の緊迫したなか、2015年7月14日、第27回府本部大会は組合員1万80人の最高の峰で迎え、代議員91人の出席で開催されました。大阪市廃止の住民投票に全力をあげて勝利した発言、高い拡大目標を掲げて仲間ふやしを頑張ったことなど13支部14人の発言がありました。「秋の知事・市長選で橋本維新政治に決着をつけること、8月7日に第一次原告団が提訴すること」等が決められ、永井守彦執行委員長、



1万80人で迎えた第27回府本部定期大会

加納忠書記長が再任されました。「戦争法」強行採決に怒りの行動

憲法も民意も踏みにじる戦争法案が7月16日衆議院、9月19日参議院で強行採決。中央本部は「憲法違反の戦争法は無効であり破棄せよ」「組織の総力を挙げて戦う」と抗議声明をだしました。第二次安倍内閣発足後、最低となった不支持率は前回より8ポイント増の51%と初めて半数に達し「強行採決」では68%の反対となるなか、全国各地で「糾弾する集会」が開かれました。

府本部は9月27日会期末までの取り組みを提案8月24日～30日の1週間を集中週間として各支部での街頭宣伝を提起しました。

「抗議の宣伝行動」提起
8月31日（月）17時から、なんば高島屋前で250人の参加で宣伝行

動。12人のリレートークの合間に「戦争法案絶対廃案」「安倍政治は許さない」のカードを掲げ唱和、市民に大きくアピールしました。

ダブル選の教訓「オール大阪」の共同さらに拡げて

5月の「住民投票」で示された「大阪都構想」ノーの審判から、さらに維新政治を終らせようと「明らに維新の一点で共同、W選にとり組みました。反維新のくりはら貴子（知事候補）33・25%、柳本あきら（市長候補）38・49%という得票結果で維新政治の継続を許しました。今回築かれた「オール大阪」の共同をさらに広げるために力を尽くす「会」の見解がだされました。

堺北支部が4支部に分離独立

堺北支部（546人）は16年5月、政令市に移行するなか、「一人ひとりの意見や要求を反映し、もつと地域に密着した年金者組合にするため」に1年の準備期間を経て分離独立。堺・堺北・堺東・堺美原の4支部が誕生しました。

組合のつどい

- 2015年
- 7・14 大阪府本部第27回定期大会
- 7・18 戦争法反対一万人集会
- 8・7 府本部年金引き下げ違憲訴訟、32人が提訴
- 8・30 戦争法案廃案！扇町3万人集会
- 9・15～16 日本高齢者大会・和歌山
- 10・15 年金一揆 in なんば
- 11・10 年金訴訟を支援する会 結成総会
- 12・1 年金ピラ・全国100万枚・一ヵ所宣伝始まる
- 2016年
- 1・18 年金違憲訴訟、第一回口頭弁論
- 3・24 大阪府国保統一化に反対する緊急学習決起集会
- 4・5 「社会保障解体・年金削減は戦争する国への道集会」
- 4・15 第2回年金裁判
- 5・20 堺北支部が4つの支部に分離独立
- 6・27 第3回年金裁判

「年金引き下げ違憲訴訟」

大阪第一次訴訟に32人提訴

年金引き下げ違憲大阪第一次訴訟は8月7日10時から地裁前小公園で200人が決起集会を開き、永井守彦原告団長と上山勤弁護士団長が決意表明。大阪労連、生活と健康を守る会の連帯挨拶を受け、原告団32人が10時20分に訴状を提出し裁判闘争がスタートしました。

11時からの記者会見後、弁護士会館で報告集会が開かれました。7月8日不服審査請求が提出された114件の「マクロ経済スライド」による大幅削減実施は不法、不当として第二次訴訟の取り組みも提案されました。

第1回審理は1月18日 大阪地裁202号法廷で15時開廷。永井原告団長の総論、村崎秀子原告副団長の個別意見陳述、上山勤弁護団長の意見陳述。第2回審理は4月15日 今枝稔さん、松浦政功さん、第3回審理は6月27日 飯田真治さん、廣上珠江さんがそれぞれ陳述しました。

運動前進の推進力 「支援する大阪の会」結成

11月10日、16人の著名人の呼びかけによる「年金引き下げ違憲訴訟を支援する会」の結成総会は1000人を超える参加で開催、各界から激励の挨拶が続きました。支援する会の拡がりや訴訟運動を大きく前進させる確かな力となること。「訴訟ニュース」を発行し裁判の進捗状況を伝える。口頭弁論の傍聴席を毎回満席にして、終了後報告集会を行う事が確認されました。

「年金下げるな！」 高島屋前に年金一揆の旗

年金一揆は10月16日15時から650人が参加してスタート。和太鼓の演奏で開幕、続いて女性部の花笠音頭で盛り上げるなか参加者全員で「年金下げるな、戦争法廃止、維新政治はごめん」の唱和がビルの谷間に響きました。

きました。

中央舞台では7つの支援団体がリリースピーチで訴えました。街頭エリアを各ブロックの支部が担当、オレンジ色の年金カラーでうめて宣伝、署名を呼びかけました。当日テレビ大阪から取材がありました。当日テレビ4月5日天王寺区民ホールで「年金引き下げ・戦争する国許さない大会」が400人を超える参加者で開催されました。



女性部の花笠音頭で盛り上がった年金一揆

雨宮処凛・西谷文和氏の動画を交えた対談。サドルのフサエさん、笑福亭竹林さんなど4人の方からのスピーチ、原告団の紹介など、元気あふれる集会となりました。

社会のうごき

- 2015年
- 7・20 キューバ、米国54年ぶり国交開始
- 8・15 安倍首相が戦後70年談話で「反省とおわび」を継承すると表明
- 9・9 関東・東北豪雨で鬼怒川の堤防が決壊
- 9・19 「安全保障関連法」衆院で強行可決
- 10・5 マイナンバー制度スタート
- 10・29 辺野古埋め立て本體工事に向けた作業に着手
- 11・13 パリで同時テロ 130人が犠牲に
- 12・12 地球温暖化対策「パリ協定」採択
- 2016年
- 1・29 日銀、マイナス金利初導入。
- 3・9 大津地裁は、関電高浜原発運転差し止めの仮処分
- 4・14 熊本でM6.5地震
- 5・29 消費税増税2年延期 (2019年10月に)
- 6・24 英国「EU離脱」国民投票で多数

年金引き下げ違憲訴訟 「マクロ経済スライド」で第2次提訴

現役世代、若者を巻き込んだ年金裁判運動を

2015年8月の提訴から1年、裁判はいよいよ本格的な論戦に入りました。マクロ経済スライド年金削減違憲訴訟の準備も進み、2016年8月8日10時に第2次提訴を行いました。

裁判運動のいっそうの広がりとも深まりが求められる中、年金者組合内



マクロ経済スライドで第2次提訴後の報告集会

や高齢者だけの枠を超え、現役世代、若者を巻き込んだ国民的運動で国民の意識を変え、次の方針が確認されることが強調され、次の方針が確認されました。

「裁判を支援する会」を広範な団体・個人に拡げよう

① 財界・政府は、「世代間格差論」で世代間の対立をおおっています。あらためて「年金裁判」運動の意義を確認する学習会、さらに市民参加の学習会、年金相談などに全ての支部で取り組む。

② 100万人年金署名、街頭宣伝を強める。憲法9条と25条を一体のものとして訴え、社会の在り方を問う宣伝を旺盛に行う。

③ 裁判カンパは、2年目の今年度も1年目と同じ5000万円目標とし、組合員数×500円を目標とする。組合員の応能負担で裁判運動を支える。創意工夫した物品販売なども含

む財政活動の取組みそのものが、年金裁判の世論づくりになることを確認し、組合員だけの募金にとどめず、「裁判を支援する会」を拡げ、広範な団体、個人にも訴える。

中央委員会で1%削減違憲訴訟とマクロ経済スライド違憲訴訟を一体にと提起

2016年6月の中央本部中央委員会では大阪は、全国で取り組んでいる1%削減違憲訴訟につき、マクロ経済スライド年金削減違憲第2次訴訟を提起しました。

要求運動実り10年加入で年金受給に

年金を受けるのに必要な加入期間を25年から10年に短縮する法案が2012年に改正されましたが、消費税10%の増税時に実施するとされ、増税延期になっていましたが、早期実施の要求運動のもと、2017年8月に施行されました。

ただ、基礎年金の年金額は、保険料の納付期間に比例するため、納付期間10年だと16252円にしきれません。

組合のできごと

- 2016年
 - 7・12 第28回大阪府本部定期大会
 - 8・8 「マクロ経済スライド違憲訴訟」(第2次追加訴訟)
 - 8・28～29 日本高齢者大会・東京
 - 9・2 堺南支部が3つの支部に分離独立
 - 9・26 第4回年金裁判
 - 10・14 年金一揆 in なんば
 - 10・20 府下64番目の支部島本支部結成
 - 11・25 年金カット法について加納書記長が衆院厚生労働委員会で参考人として意見陳述
 - 12・13 第5回年金裁判
 - 2017年
 - 3・6 第6回年金裁判
 - 5・24 春の年金一揆(東成区民センター)
 - 5・19 中央本部のILO及び国連人権委員会訪問団に加納書記長参加
 - 6・9 第7回年金裁判

野党と市民の共同で参議院選挙11選挙区で勝利

7月10日投票の参議院選挙は、戦争する国、憲法破壊の道を許すのか格差と貧困を拡大させる徹底した競争と儲け第一主義でいいのかが問われた中で行われました。

32の1人区すべてで野党と市民の共同が成立し、11選挙区で勝利することができました。

秋の仲間づくり269人拡大

2016年秋の月間は269人増やしましたが、退会者が166人あり、純増は103人でした。

今後の仲間増やしの取り組みに向け、①月間をふりかえり、府本部・各支部としての「総括」を行い、次の取り組みに備えること。②持続拡大へ支部目標を決め、最低月1人以上の拡大をすることが必要と確認しました。

めまぐるしく変化する情勢も踏まえつつ、高齢者組織らしい楽しみ7分の取り組みも含め、仲間づくりを一步一歩前進させることが大切と確認しました。

堺南支部が3支部、高槻島本支部が2支部に分離独立

堺南支部が1年余りの準備の末、9月2日に堺中・堺西・堺南支部に分離独立しました。高槻島本支部も10月に支部分割しました。

なくすな大阪市、売り飛ばすな地下鉄と市バスの運動

2017年2～3月議会で、地下鉄・市バスの廃止条例案が審議されました。

廃止条例は議会の3分の2以上の賛成が必要であり、市議会定数は86人、3分の2は58人で、維新36人、公明19人で55人、自民党が賛成に回らないと可決できない状況でした。

市内協は自民党議員との懇談や、各区の議員への要請活動など全力を尽くしましたが可決されませんでした。

市営地下鉄は市民の税金と運賃収入で育ててきた市民の共有財産です。1日1億円の黒字を生み、2015年度だけで374億円も黒字を積み上げた超優良事業です。維新は「大阪都」構想実現のために最も邪魔に

なるものを取り除き、市民の財産を売り払ってカジノなどに使う考えです。市内協は、維新のこの画策を阻止するために宣伝行動などで市民に訴えました。

2017春の年金一揆 漫談で学ぼう5・24大集会



「春の年金一揆」でアコーディオンを演奏する寺田ちはるさん

2017年5月24日、初めての屋内年金一揆。東成区民センターに満員の500人参加で行われました。小林康二さんの漫談、寺田ちはるさんのアコーディオン、そして全員合唱で盛り上がりました。

社会のうき

- 2016年
- 7・1 年金積立管理運営独立行政法人、4～6月期運用収益5兆2342億円の赤字
- 7・10 参院選で自公、憲法改正発議の3分の2確保
- 11・8 米大統領選で、ドナルド・トランプ氏が当選
- 11・10 年金受給資格を25年から10年に短縮
- 12・14 カジノ、年金カット法成立
- 2017年
- 1・27 厚生労働省は、2017年度の公的年金の支給額を前年度比0.1%引き下げを発表
- 3・28 大阪市の地下鉄民営化条例可決
- 5・3 安倍首相、憲法改正を實現し、2020年施行を表明
- 6・15 テロ等準備罪参院本会議で自公維で強行採決
- 6・15 昨年一年間の全国行方不明者のうち、認知症は1万5432人

年金裁判勝利、みんなが安心・ 信頼の年金制度確立の大運動を

最高の峰で迎えた 第29回府本部定期大会

7月11日に第29回大阪府本部定期大会が97人の代議員で開催されました。春の仲間づくり月間で1万98人に到達し最高の峰で迎えました。大会では13人の代議員から発言があり、全ての議案が満場一致で採択されました。また、委員長に加納忠氏、

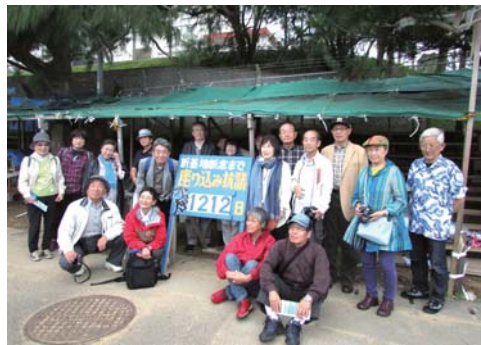
書記長に長坂民雄氏が選出されて新体制で2017年度のスタートをきりました。

堺市長選で竹山氏3選 大阪都構想到打撃

9月24日に堺市長選挙が行われ「都構想ノー」を掲げる現職の竹山おさみ氏が当選しました。年金者組合は「都構想ノー」「維新市政は許さない」立場から、竹山おさみ氏を自主支援する「住みよい堺市をつくる会」に結集してたたかいました。

辺野古に基地はいらない

10月28日～29日の2日間、第31回日本高齢者大会が沖縄で開催予定でしたが、台風22号の沖縄本島直撃で中止となりました。大阪代表团は沖縄支援に切り替えて高齢者大会参加予定の約半数55人が27日に沖縄に向



辺野古米軍キャンプ・シュワブ正面ゲート前の座り込み行動を激励

かいました。沖縄では「不屈館」の見学、嘉手納基地の高台見学、辺野古米軍キャンプ・シュワブ正面ゲートでの激励などを行って31日に帰阪しました。

年金裁判学習会を開催

11月21日にエル大阪で年金裁判学習会が開催され、原告を含む151人の組合員が参加しました。集会では神戸大学大学院の井口克郎准教授が「人権としての社会保障」と題して講演しました。また、喜田弁護士が裁判の進捗状況を報告し、勝井書記次長が運動の提起を行いました。

組合のいきこつ

- 2017年
- 7・11 最高現勢1万98人で第29回大阪府本部大会、第8回年金裁判
- 8・10 介護不服審査請求一斉提出行動 府議会会館
- 9・15 近畿ブロック役員交流集会 和歌山
- 10・6～7日 年金フェスタ(てんしば公園)雨天中止
- 10・14 「酒の座」ガスビル
- 10・20 第9回年金裁判
- 10・24 沖繩、台風で中止
- 10・27～28 年金裁判学習会(エル大阪南館)
- 11・21 第10回年金裁判
- 2018年
- 1・24 年金過少支給問題を機関紙で注意喚起
- 4・15 第11回年金裁判
- 4・25 年金裁判学習会(エル大阪大会議室)
- 5・15 常任執行委員会、大阪北部地震のため中止
- 6・18 介護3団体、介護保険料大幅値上げで大阪市交渉
- 6・21



「都構想ノー」で「住みよい堺市をつくる会」に結集して宣伝行動(堺駅前)



年金者組合のメーデーデコレーション
(2018. 5. 1大阪中央メーデー)

「2018年金フェスタ」を盛大に開催

2017年10月にてんしば公園(天王寺)で予定の年金フェスタが雨で中止となったことから、2月10日に東成区民ホールに場所を変えて「2018年金フェスタ」が開催されました。沖縄民舞と獅子舞、年金5人衆・サックス演奏・年金クイズ・猿まわし・シルバークワイアとお楽しみ抽選会に500人を超える組合員・市民が楽しみました。

「終日の冷たい雨でしたが、府本部が工夫して真剣に取り組んだ

フェスタのおかげでいい一日が過ぎました。音楽・文化の力はすごいですね」との感想を寄せてくれました。

富田林市議会が「年金毎月支給の意見書」採択

府本部では、年金制度の改善を求めて、地方議会における意見書採択の請願運動を呼びかけています。

12月22日に年金者組合富田林支部が提出した「年金の毎月支給を求める意見書を国に提出することに関する請願」が富田林市議会で賛成多数で採択されました。

第10回年金裁判で大阪地裁「持ち物・身体検査」

第10回年金裁判は1月24日に大阪地裁202号法定で開催されました。大阪地裁は1月から「テロ対策」として空港並みの持ち物検査と身体検査を導入しました。

このような措置は「裁判の公開原則」に反するものです。府本部では国民救援会等と連携して持ち物検査と身体検査の廃止要請署名



「年金フェスタ」で展示された貴重な沖縄関係資料

を行いました。

年金過少支給問題の解決に力を発揮

2月支給の年金から過大な所得税が天引きされ支給額が大きく減少した人が全国で130万人も発生しました。この原因は「扶養親族等申告書」の未提出や提出していても年金機構の処理ミスによるものでした。年金者組合の厚労省への申し入れや国会での追及で、改善の措置が実施されました。

年金者組合の機敏で積極的な取り組みによって、2019年2月に年金の所得税の計算方法が大きく改善されました。

社会のつぎ

- 2017年
- 7・10 衆参両院が学校法人「加計学園」獣医学部新設問題で閉会中審議
- 7・27 2016年の日本人の平均寿命は女性87・4歳、男性80・98歳で世界2位
- 9・13 基礎年金の「振替加算」で1991年以降、元公務員の妻ら10万5963人分、計598億円の支給漏れが判明
- 10・22 衆院選で自民単独で絶対安定多数を上まわる
- 2018年
- 1・29 厚労省は18年度の公的年金支給額据え置き
- 2・4 沖縄県の名護市長選で、米軍普天間飛行場移設反対派稲嶺進氏が敗退
- 3・14 年金申告6万7000人分放置。130万人が過少支給。
- 4・3 増える生活保護孤独死。
- 6・12 史上初の米朝首脳会談。
- 6・18 大阪府北部地震 M6・1、震度6弱を観測

組織の拡大強化で、年金者組合 運動を大きく前進させよう

第30回府本部定期大会 代議員数増やして開催

7月10日に第30回定期大会が開催されました。この大会から代議員数が増え、会場もエル大阪での開催となりました。仲間を増やし地域に根ざした年金者組合を大きく発展させようとする運動方針を全会一致で確認されました。



代議員数が増え、会場を「エル・おおさか」に移して開催された第30回府本部定期大会

2018年組織集会を開催

9月26日に大阪社会福祉会館で「2018年組織集会」が開催され、100人を超える組合員が参加しました。京都府本部・山本書記長の「仲間ふやしは世直しの一步」と題した講演が行なわれました。池尾書記次長によるスライドの上映、山崎組織部長の基調報告と続き、午後からは5つの分散会で、支部の悩み、どうしたら仲間が増やせるか、支部役員の後継者問題や財政問題などリアルな話し合いが行われました。

秋の年金一揆に700人

10月29日になんば高島屋前広場で秋の年金一揆が繰り広げられました。組合員延べ700人が参加しました。リレートークに始まり、サックス演奏やアコーディオン演奏などで、年金者組合の存在と年金裁判支援や年金制度改善の訴えを届けることがで

きました。

第15回年金裁判・報告集会 財源問題で学習会

3月11日大阪地裁で第15回年金裁判が開かれました。枚方支部の久末道子さんが意見陳述しました。

裁判終了後は大阪グリーン会館に場所を移して「報告集会&学習会」を開催。学習会では暮らしと経済研究室の山家悠紀夫さんが「日本の社会保障制度は」まだまだ改善・拡充が必要である。その財源は確保できると題して講演を行いました。この日の行動には約150人の組合員・市民が参加しました。

スライドも使い各支部で 年金裁判学習会

年金裁判弁護団や府本部役員を講師にする学習会。パワーポイントで作成のスライドによる学習会など多くの支部で「年金裁判学習会」が開催されました。なかでも、スライドによる学習会は大府下だけでなく府外からの要請もあり、この3年間で70カ所を超えました。

組合のびきり

■2018年

- 7・9 第12回年金裁判
- 7・10 第30回大阪府本部大会
- 9・26 組織集会（府社会福祉会館）
- 10・19 第13回年金裁判
- 10・29 年金一揆 in なんば
- 11・1 近畿ブロック女性のつどい・堺
- 11・25～26 日本高齢者大会・熱海
- 12・17 第14回年金裁判

■2019年

- 1・9 前進座正月公演・京都劇場

社会のついき

■2018年

- 7・6 西日本で記録的豪雨、死者220人。犠牲の7割は60歳以上。
- 9・6 北海道胆振地方が震源のM6・7の地震発生
- 10・15 安倍首相、19年10月1日から消費税10%に
- 10・30 環太平洋経済連携協定（TPP）12月30日発

組合運動に寄与する共済活動

■労働組合の原点は助け合い

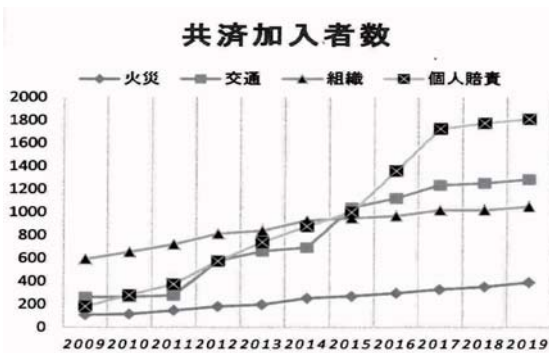
労働組合の源流は、18世紀のイギリスの「パブ（居酒屋）」を舞台にした労働者の相互扶助活動だと言われています。1980年代に入り労働運動の右傾化が強まり、既存の共済事業運動が収益のみを追及する事業体に変質しました。営利を目的とせず、真に組合員同士が助け合う共済運動が必要と、1987年7月「全国労働共済会」を設立。2010年2月には労働組合の自主共済運動が100万全労連に継承されました。

■加入者を右肩上がりに増やす

府本部は共済活動に携わる組合員を増やすため、府本部・支部での「共済学校」開催を重視。共済活動家や世話人が増えるとともに、火災・交通・個人賠償責任共済・組織加入共済の全てで右肩上がりに加入者が増え、大阪労連の「共済拡大キャンペーン」では2011年から8年連続「団体の部1位」で表彰され、報奨金3万円を獲得しています。



共済問題をO×方式で学習



年度別共済加入者数

年度	火災	交通	組織	個人賠償
2009	109	263	594	181
2010	116	266	654	281
2011	147	277	721	375
2012	181	578	813	576
2013	197	661	839	740
2014	253	693	928	878
2015	271	1039	948	999
2016	296	1121	966	1359
2017	329	1234	1018	1723
2018	352	1252	1018	1773
2019	391	1284	1048	1808

■利用者の立場に立った制度改定

2013年から制度内容の改定が次々行われました。

「火災共済」の「風水害等共済金」の住宅損害額（一部壊）が「10万円以上から5万円以上」に、「行事スポーツ保険」への加入年齢が「80歳から85歳まで」に引き上げ。自動車共済の「ロードサービス」が無料になり、搬送距離も30kmから50kmに延長されました。

「組合活動事故見舞共済」のII型（役員のみが加入）では、生存給付を厚くして「入院Ⅱ5000円／1口が7000円／1口」に、「実通院2500円／1口が3000円／1口」に

引き上げられました。

しかし、「交通災害共済」は長きにわたって赤字運営が続いているため、実通院給付「日額750円を500円」に引き下げ、「個人賠償責任共済」の掛金は2018年から「年額1200円が1500円」に引き上げられました。

■地震や台風被災者に喜びの声

2018年の大阪北部地震や台風21号による被害は組合員を直撃。被災者へのお見舞金や「風水害等共済金」の支給は喜ばれました。

■共済と組合員拡大を両輪で

2015年の「春の拡大月間」では、組織部と合同でピラ入りポケッツトエイツシュ1万5000個を作り、共済と組合員拡大を結合した取り組みを行いました。共済加入者が述べ4000人を超える中、活動費の還元金も増加し支部財政を支える一助となっています。

2010年から今日まで毎年、大阪労連共済に理事と拡大推進委員を送り、共済の拡大強化に貢献しています。

出かけるのは勇氣、会えば元氣

月一回の定例会はいつも笑いに包まれて

「全支部に女性部を」のスローガンで、この5年間活動してきましたが、2016年・西成支部、2018年・東淀川支部で女性部が結成されました。



2016年4月に女性部を結成した西成支部の新年会

定例会は支部交流を大切に

毎月第3水曜日は府本部会議室で定例会議を開催してきました。高齢者のいのちと暮らしを守る活動は、

いま何をやればいいのか学習し、後半は支部交流で日頃の活動を報告。支部ではグルメの会、日帰り旅行、手芸の会、折り紙、誕生会、おしゃべり会、お茶の会、街頭宣伝、署名行動、仲間づくりの経験交流などを大切にしてきました。



2018年7月に女性部を結成した東淀川支部の今昔館見学

大盛況の文化行楽活動

昔懐かしい木下サーカス見物、渡辺武さんの案内で大阪城史跡散策、繁昌亭を楽しもう、天王寺界隈の歴史・真田丸を訪ねて、花と緑豊かな

女性部総会では学習にも力を入れて来ました

総会は例年前半は講演を聞き、後半は1年間のまとめと討論、新年度の役員紹介などが行われてきました。

2014年	女性と日本国憲法	渡辺和恵弁護士
2015年	年金裁判の意義	永井守彦前委員長
2016年	介護保険	寺内順子社保協事務局長
2017年	平和憲法と共謀罪	中平史弁護士
2018年	健康は健口から	平尾清司歯科医師

長居植物園で英気を養い、圧巻は宝塚観劇会の申し込みが定員越えの参加で年1度の府本部行事は盛況です。

くらし運動部も大奮闘

定例会議のあと、天神橋商店街の交差点で署名行動を実施。また大阪労連の集会やパレード、母親連絡会の赤紙配りや母親大会、国際女性デーなど平和の行動にも参加しました。

女性部の歩み

6月	第23回総会 32支部 93人
5月	田丸 春の行楽・天王寺と真
4月	西成支部女性部結成
3月	国際女性デー
3月	部雅喜さん
1月	のゆくえ 講師・日下
1月	学習会・介護保険制度
12月	赤紙くぱり
12月	■2016年
10月	性のつどい・奈良
10月	第23回近畿ブロック女
8月	第61回日本母親大会
6月	第22回総会 31支部 97人
5月	宝塚劇場観劇 56人参加
3月	国際女性デー
3月	■2015年
1月	介護実態アンケート実
11月	性のつどい・和歌山
10月	大阪女性行進・新町北
6月	公園
6月	第21回総会 35支部 10
5月	5人
5月	春の行楽・長居植物園
5月	へ73人参加
5月	■2014年

ブロックごとのつどい 豊かな経験持ち寄る場

府内6か所のブロックで、豊かな経験をもち寄る女性のつどいが定着し活動が広がりました。

北摂はビール工場見学と出来立てビールの試飲。北河内には鶴見緑地公園で河内音頭や炭坑節を踊り交流。河南は世界遺産に名乗りを挙げる古市古墳群の散策。大阪市内は500人もの慰安婦を送り出した事実を知った港区の戦跡巡り。堺泉州は浜寺公園駅旧駅舎とバラ園巡りなど、女性

ならではの発想で学び交流を楽しみました。



若い人とも同年代ともしっかり対話

2017年4月女性部委員会後の署名行動

女性の低年金は現役の職場の女性差別（ジェンダー差）が根にあります。ジェンダーギャップとは①経済的平等②教育の機会均等③政策への参画④女性の労働力率⑤女性議員の数などの男女間格差を言います。

男女共同参画社会の実現をめざして

調査学習部

国連の調査では、日本は135か国中105位で、政府は1999年に「男女共同参画社会基本法」を制定しています。

から、府保険医協会から講師を招き学習。常に憲法13条、25条を生かした暮らしの実現を求めて行動してきました。

2017年には医療制度が国民負担増で大きく変わることを

調査学習部では行政区毎に資料を集め、学習しました。介護の実態についてアンケート調査を行い、寄せられた声に応え、介護保険制度の学習会を開きました。

支部女性部活動から

高齢女性生活実態調査

女性の37・6%が厚生年金ですが、その38・5%が月額5〜9万円。現役時代の給与の男女間格差は大きい。夫婦2人暮らしが46・5%、ひとり暮らしが31・9%。2人の年金で、貯金を取り崩して何とかやっているという状況。多くの高齢者が抱えている生活や将来不安・不満を生活保護受給者へ向けさせる流れがあるが、改善すべきは年金制度。最低保障年金は絶対必要です。（富田林支部）

80歳組合員の訪問活動

7年前から始めた訪問活動。今まで元気に活動やサークルに参加していた方もだんだん出にくくなり退会者が増えています。それをなんとか減らしたいという思いから始めました。「わざわざきてくれてありがとうございます。病気で入院してやめよう思うてたところやけど…」ご自分の苦労話を語られ、訪問が組合員の距離を近いものになっています。心ばかりのプレゼントと手描きの絵手紙を持ってこれからも続けます。（羽曳野支部）

8月 赤紙配り

11月 年金カット法案のミニ学習・勝井書記次長

2017年

2月 学習会「これからの医療制度はどう変わるのか」講師・大阪府保険

5月 「繁昌亭」へ91人参加

6月 第24回総会 36支部93人

8月 大阪女性行進「改憲ノーパレード」

11月 第25回近畿ブロック女性のつどい・神戸

12月 組織アンケート開始

2018年

1月 組織アンケート集約

5月 渡辺武さんとめぐる大阪城史跡散策

6月 第25回総会 38支部87人

7月 東淀川支部女性部結成

11月 第26回近畿ブロック女性のつどい・サンスクエア

堺、大阪124人参加

2019年

2月 木下大サーカス見物 1

2月 00人を超える参加者

大阪労連権利討論集会

3月 国際女性デー



結成30周年を祝う

支部からのメッセージ

9条の会を立ち上げ毎月宣伝

私たちの支部は2012年の「再建時」は組合員が50名程度でした。そして3桁の支部現勢に到達したのが5年後の2017年6月でした。率直に言って時間が掛かり過ぎたと思っています。しかし「数は力」と言いますが、それが精神面の支えと言うだけでなく、物理的な力を発揮することを感しました。



念願の9条の会を立ち上げ

それはこの年の総会で、念願だった支部に「9条の会」を立ち上げる事ができました。私たちの年金改悪阻止運動も、平和な社会でなければ成り立たないと思いき、以後毎月「9

の日宣伝」を続けています。間違いなく3桁という「数」が後押しをしていて、と考えています。

(東淀川支部 松尾喜生)

30人から200人の支部へ

箕面年金者組合は結成20周年を昨年末に迎え、この間の催しを冊子にまとめ、地域の皆さん80人が集まりお祝いをしました。



箕面支部結成20周年の集い



岸和田支部の社交ダンスクラブ

豊能支部から独立当時の30人が200人を超える組合員に出来たのは諸先輩方の努力の賜物で、今後とも地域に根差した運動を進めたいと考えます。

(箕面支部 支部長・上野泰三)

サークル活動を楽しみます

岸和田支部のサークルには、川柳(月1回)・社交ダンス(毎週月曜日)・囲碁(月1回)・カラオケ(月1回)の各サークルがありまして。25周年以降、うたごえ月1回、洋裁(月2回)が誕生し、昨年には卓球サークル(月1回)が誕生し、

府本部の卓球大会にも初挑戦しました。これからも、サークル活動を楽しみます。(岸和田支部 書記長・稲内一夫)

早期に300人めざす

八尾柏原支部として29人で出発して30年。2013年に分離し八尾支部となる。昨年10月2日に、全国に先駆けて30回総会と30周年記念文化行事を実施。出演者を含めて115人の参加で、支部としては過去最高の催

しとなりました。早期に300人組合員を目指します。

(八尾支部 支部長・西村唯弘)

増勢をさらなる前進のステップに

私たちの支部は、昨年の「仲間づくり月間」以降5年ぶりに組合員の増勢傾向へと転じ始めました。日



高石支部行事に参加した皆さん

本社会の高齢者人口の急増に対し、私たちが年金者組合自身世代交代を含め

て社会と政治の構造的な変化に対応できる力量が求められています。さらなる前進へのステップにしましょう。(高石支部 支部長・中谷清一)

支部分割2年後に両支部で71人増

2016年10月、高槻・島本支部が支部分割しました。高槻支部は494人、島本支部は

41人で新しいスタートを切りました。2年経過後の18年末、高槻550人、島本は56人となり合わせて600人を超えました。

支部は無料敬老バスや共同墓所など要求実現の活動と、毎年新しいサークルを一つ以上立ち上げています。支部ニュース「年金者たかつき」が好評です。

(高槻支部 書記長・織部巖)



高槻支部定期大会で文化交流

行政区ごとの支部独立めざす

2014年までは年2回、一泊と日帰りのバスツアーを実施してきた。昨年やっと一泊バスツアーを復活できました。5分会のうち2分会で年数回の交流会を実施。最近では宣伝行

動ができていません。いずれにしても行政区単位での支部独立を実現することが求められています。

(阪南支部 辻 清孝)



阪南支部熊取分会のバーベキュー

地域に根をはる支部づくりを

堺美原支部は2016年6月に旧堺北支部から分離独立し、82名で結



望年会を楽しむ堺美原支部の仲間

成した支部です。

旧堺北支部は2014年に旧堺支部が堺北支

部と堺南支部に分離独立し結成されました。その後、旧堺北支部は2014年当初の組合員数258人から発展し、2016年には約550人の大きな支部になりました。

さらに旧堺北支部は、2016年6月に堺美原支部、堺堺支部、堺東支部、堺北支部の4支部に分かれました。4支部はそれぞれの独自性を尊重しながら今日に至っています。

美原支部は現在100人を超える支部となりました。楽しい行事や支部内の7つのサークル活動と共に、地域に根をはる支部作りに努力しています。

(堺美原支部 書記長・一塚正統)

この5年間の最大の運動は「都構想」の住民投票のとり組み

城東区年金者組合のこの5年間の

運動のなかで最大の取り組みは、大阪市をなくして、権限のな



集会で「都構想」反対を訴える中居支部長

い「特別区」をつくるという維新の「都構想」のたくらみを打ち破る住民投票のたたかいでした。大阪市をよくする会城東連絡会に結集する民主体と共同で、毎日宣伝、住民説明会への取り組みなどに全組合員がいろんな行動に参加しました。住民投票の勝利は組合員を大きくはげました。また、この間は「区制会議」という経験したことのない住民参加の運動への挑戦でした。さらに介護保険不服審査請求の運動では市内ではトップの取り組みを維持しているのも城東の自慢の一つです。

(城東支部 支部長・中居多津子)

組合員とのつながり強化を

この5年間に組合員を大きく減らし、府全体の足を引っ張っていることに忸怩たる思いと責任を感じています。不寛容な時代の中で、社会とつながる、組合員とつながることをいっそう強めて、次に向けて足を踏み出したいと思っています。

(住吉支部 書記長・村上 茂)

楽しくみんなで集う

わが堺北支部は、旧堺北支部が大



堺北支部のバス旅行に参加した皆さん

きくなつたため4つの支部に分かれて出来て丸3年を迎えようとしている若い支部です。

お花見会、送迎つき健診、バス旅行、新年会、輝け展など、年間行事。そして、歴史散歩やハイキング、卓球、料理など、16のサークル活動で、楽しくみんなで集っています。

現在、270人のあたりで増えつつも減ってしまうのが悩みです。

(堺北支部)

天神祭で仲間増やす

2015年夏から4年連続、府本部会議室等を開放していただいていた「天神祭を楽しむ会」は毎回20人ほどの参加で、飲んで、食べて、陸渡



天神祭に参加した寝屋川支部

御に酔いしれ...と、好評です。

この取り組みは、府本部役員や他支部の方たちと楽しく交流もでき、参加者に喜ばれています。また、組合員拡大の一助ともなりリピーターも多数です。

(寝屋川支部 書記長・大江 武)

33人で結成し、いま230人に

東大阪支部は、府本部結成の1989年3月当時に府本部に結集していた19支部のひとつです。府本部の初代書記長は支部の若松秀さんでした。まさに府本部の歴史とともに歩んできました。結成時の組合員が33人。いま230人。人口50万都市の東大阪市の高齢者人口(約11万人)にふさわしい支部づくりを奮闘中です。

(東大阪支部)

サークル活動で仲間増やし 高齢者比1%に

1997年「河南支部」から分離・

独立し、60人からスタートした羽曳野支部は「何事も楽しく」をモットーに、ひとりぼっちをなくそうとサークル活動を中心に仲間を増やし高齢者比1%を達成。

その後、6分会で独自の行事、20を越えるサークルで地域に顔の見える活動を展開、高齢者比率で府下トップを占めるようになりました。今後一層組合員に依拠し、憲法や民主主義を中心として高齢者の暮らしを守るための声とともに大きくしていきます。 (羽曳野支部 前執行委員長・潮田 洋右)

女性部活動が大きく前進

富田林支部のこの5年間は女性部の活動が大きく前進しました。その一つが「ワイワイ盆踊り」サークル。炭坑節・河内音頭から始まり、よさこい音頭、さらには登美丘高校で再ブレイクしたダンシングヒーロー。少しぐらい間違ってもおかまいなし。体も口も良く動かして楽しく

心地よい時間を過ごしています。

(富田林支部 足立佳代子)

活動支える支部機関紙

支部の自慢は小組活動、女性部のグルメの会、月1回の行楽行事、年2回の一泊旅行。これを支えている機関紙「松原しゅら」。先日のコンクールで入賞し皆を励ました。

自治体への働きかけも過去年金問題で2回、介護保険で1回意見陳述しました。裁判傍聴も、月1回のスパー前宣伝もがんばりたい。

(松原支部・國友靖子)

諸先輩の後引き継いだ30年

現役生活を終えて引退後、自分の時間をいかに過ごすか。現代社会に生きる我々は、引退してもその社会の関わりから逃れることができない。そうであるなら、この社会をよりましなものに発展させるために活躍しよう。闘う年金者組織を創設した諸先輩の方々の後を引き継いで30年、今日の府本部に発展させてこられた指導部とそれを支えてこられた組合員に心から敬意を表します。(大東支部・前執行委員長 田中修次)

産別支部として親睦交流

わが支部は、毎年秋に一泊旅行をしていましたが、バス代が高くなった5年前を最後に日帰り旅行になりました。

3年半前には機関紙「ねんりん」の縮刷版を発行し、川西市で「25周年の集い」を開催。その後は手頃な春秋のハイキング、夏の暑気払い、冬は望年会、3月の総会と懇親会などで親睦を深めています。

全国まねな産別の支部として、「丈夫で長生き」を合い言葉に府本部のお荷物にならないように今後も活動を続けていきます。(銀行支部)



親睦交流を楽しむ銀行支部



天王寺支部20周年の集い

結成20年で記念の集い

天王寺支部は2017年10月に結成20周年を迎え、記念の集い、記念品(ネーム入りボールペン)、記念誌(年表とニュース200号合本)を発行しました。

この5年間、対区交渉、区役所前や憲法平和宣伝、カラオケ・囲碁に加えて麻雀・卓球・童謡サークルを結成し、ハイキングは250回を超えました。(天王寺支部)

30年組合員

みんなと相談し河南支部結成

松原支部 山田 芳一

1988年11月頃だったと思います。経塚衆院議員河南事務所「河南地域に年金者組合をつくってほしい」と役員の方がこられました。

早速みんなと相談して、職場で労働運動をしておられた方で、近年退職された人たち11人に呼びかけ人になっていただき、打ち合わせ会、結成準備会を経て、翌年6月18日に年金者組合河南支部(8分会)を結成しました。この年の3月18日に大阪年金者組合が、



府本部と支部の創設に参加

淀川支部 治部 康利

呼びかけに応じ、府本部創設に参加。各界のそうそうたる人

物が参加。支部は淀川と東淀川と合同で89年5月に創設。支部長は医療生協の医師、私は書記長として支部会議は市議母宅や貸事務所で行った。

支部は96年5月にそれぞれ分離独立。十三の淀川東淀川労連が事務所。2011年2月17日(私の90歳の誕生日の翌日)中央公会堂で、「高齢者怒りの近畿決起集会」が開催されたが、今でも印象深い。



生きているのが仕事。現3人の役員に感謝。

嬉しかった組合設立の話

交野支部 金崎 登代子

60歳定年を迎え、「さてこれから」と思ったとき、年金者組合設立の話がありました。私にとっては嬉しいことで、府本部にも交野にも参加し現在に至っています。



今後明るく楽しく過ごせたらと思います。



誰ひとり孤立させない まちづくりめざして

区政会議に高齢者の声を反映

城東支部 中居多津子

城東区区政会議は現在3期目に入り1期、2期に続き50人定数の内、民主勢力は常に10人を超える委員を確保しています。

3期目では公募委員枠18人を超える応募があり「くじ引き」で決めるといふ手法をとり、他



区政会議に積極的に参加し発言

の区のように区側の「恣意的」選考を許しませんでした。

公募委員が必ず発言し会議をリード、地域の保守層との合意で要求の前進を

私たちは町会から推薦された32人の委員と要求で一致し、区政に住民の声を反映させることを重視してきました。

この間、区の広報誌を新聞折り込みから、「全戸配布」させたこと。区役所の跡地利用をめぐることは「売却を第一義とせず区民の声を聞いて欲しい」との意見が多数を占める中、区の方針を「区役所跡地は財政事情から売却していく方針となつていくが、区政会議でだされた意見を尊重し、区全体の街づくりや地域の振興発展の観点を踏まえた跡地活用方法を検討していく」と変更させました。

その後パブリックコメント、区民アンケート、「住民説明会」を実施させるなど区政に区民の

声を反映させてきました。跡地活用をめぐる状況は楽観できるものではありませんが、引き続き運動を強めていきます。

他団体と連携し市 営墓地建設させる

高槻支部 織部 巖



要求で実現した合葬式墓地

まちづくり運動は年金者組合だけでは進みません。高槻支部は市内の民主団体や高齢者団体との連携を重視してきました。

「高槻島本労連」「民主市政をつくる会」「豊かな高齢期づくり高槻連絡会」「高槻社保協」などに加盟して、ともに住みよ

い町づくりを目指してきました。中でも「民主市政をつくる会」が予算編成前に市長と対話し、加盟団体がそれぞれ抱えている要望を直接聞いてもらう機会が定例化していることは、要求実現の近道となっています。

年金者組合はこれまでの懇談の中で、毎回「市営バスと敬老パスの存続」を言い続けてきました。市長も敬老パスの効果が、高齢者の社会参加や経済効果に貢献していることを十分認識しています。

今年4月から合葬式墓地が完成し供用開始がスタートします。組合員の中には墓がないので遺骨を自宅に保管している人もかなりいます。使用料は10年個別保管で10万円、記名板が5万円。生前予約もできます。要求を出してから3年で認められ、工事に2年かかりました。

最近、歩行中に転んで骨折する事故が多発しています。支部では役員35人が、自分の住んでいる地域の「ウォッチング」を実施し、歩道、水路、バス停等々の改善運動に取り組んでいる真っ最中です。

小さな町の大きな存在をめざして

島本支部 山本隆

山城の国と摂津の国を結ぶ旧西国街道が町の真ん中を通る島本町は人口約3万人の小さな町ですが、町内には、サントリー、小野薬品、セキスイなど一流企業が存在し、現在は、大型マンションなど住宅建設ラッシュで人口増がつついています。



山田町長（中央）と懇談した島本支部の組合員

2017年の町長選挙では「高槻市との合併」を掲げた元大阪府幹部（維新・自公連合候補）を打ち破り、「合併反対。小さくても輝く島本を」を掲げた山田紘平町長（当時32歳）が誕生しました。少数与党という厳しい中ですが、選挙で支援した住民による「山田町政」を名実ともに「民主町政」へ発展させるための活動が継続され、これには町長と同年代の青年も多く参加しています。

現在、島本町の最大の課題は、JR島本駅西側の田畑をなくしてしまう開発です。町は（山田町政前から計画されていた）高層マンション中心の街づくりを進めています。計画の「見直し」を求める住民運動が取り生まれ、年金者組合員の多くも、この運動に参加しています。

島本支部は毎年、山田町長と懇談を行い、今年の高齢者対策などについて「要望書」を提出し「回答」をもらいました。

島本支部が高槻支部から独立して2年半、まだまだ半人前です。今後、年金者組合が町民の話題になるよう、活動内容の充実、組織拡大に頑張っていきます。

高齢者の足確保で署名運動

堺美原支部・一塚正紘

堺市美原区は、2005年に旧美原町が堺市と合併して誕生しました。美原区は、田園がある自然豊かな地域ですが、鉄道の駅はなく交通は便利とはいえません。また、かつて美原町にあった「無料巡回バス」は合併後に廃止されました。



2016年に80人で結成した美原支部は「美原の交通改善を」の要求を掲げ、



署名を集め（写真左）、実現した乗り合いタクシーで福祉会館へ（写真右）

地域に署名を呼びかけました。その結果、数カ月で約1700人分が集まり、署名を背景に市や区役所と話し合いました。また、堺市議会に対して支部代表が意見陳述を行いました。

そして念願だった美原福祉会館前に乗り合いタクシーの停留所の設置、区民まつりへの無料巡回バスが実現しました。今も交通改善の運動は続いています。

ボランティア「便利屋さん」大活躍

西淀川支部・永田義昭

2004年、80歳の組合員を訪問したときに、「以前は蛍光灯を替えられたのに、今はできまへん」と言われびっくり。早速便利屋さんサークルを立ち上げました。



「便利屋さん」の宣伝ビラ



ロープを張って屋根に

現在男性7人で、家具修理などの「よろず一般活動」を年間29件と、洋服寸法直しなどの「得意分野の活動」を年間26件しています。費用は無料です。

記憶に残るユニークな活動としては、パンク修理を得意とする組合員がゴム代程度で修理したり、男性の洋服の元仕立屋さんが、糸代程度で洋服寸法直しをし、組合員からよろこばれています。

私自身の体験ですが、昨年の台風の後、ブルーシートを貼るため数回屋根に上りました。高額なものや危険な仕事はしないのが原則ですが、次の方法で安く安全にする方法を見いだしました。

①土壌が必要でしたが布袋も土も手元になく、2リットルのペットボトルに水を入れて代用

次に②屋根の上では命綱が使えません。そこで身体にロープを巻き、その先端を棟越しに反対側の地面に落とし、そこに固定する方法でした。

今後、女性と若い男性の便利屋さんを誕生させたいとがんばっています。

まちづくり、「公共交通実現」に向けて 太子河南支部・高谷二三

住民の足としては、金剛バス、福祉センター行きの福祉バス、そして4年前から予約型乗り合いワゴン車が町内を走っています。このワゴン車（略称）は高齢者（65歳以上）で、ひとりで乗り降りできる人を対象に9時から4時まで一日に7便で、土日は休み。

ワゴン車の実現には、足掛け16年の運動があります。人口密集地域の磯長台・聖和台にバス路線はなく、マイカーに頼っていました。高齡化が進む中で、新婦人の会、年金者組合、共産党後援会が「循環バスを走らせ

る会」を立ち上げ、全世帯にアンケートをして、議会での質問要望をしてきました。

その結果、「高齢者のお出かけ支援」で、福祉対策として実現しましたが、弱点は65歳未満妊婦・子どもは乗れない、予約が面倒、定時・定点で乗れたら良い、などの要望があります。

「バスの会（略称）」として何回か町当局に要望書の提出と懇談を繰り返す中で、太子町として「公共交通検討会議」の位置づけで、新たに2名の公募の住民も含め、開催されています。



実現した乗り合いワゴン車

2年目を迎え、12月からは実証運行の予定ですが、今より不便にならないよう奮闘しています。

30年組合員

振り返れば30年

堺北支部 原 圭治



「ソ
テツ」
第1号
は、1
989

年9月に発行している。その記事は、さっそく堺市長への「高齢者対策の要求書」である。

第2号は、要求書にもとづく対市交渉の記事というように、年金者組合の存在意義を結成当初より発揮してきた。

それから30年、今は、組合員は、10倍を超えている。しかも女性とあまり組織経験のない人々が多数加盟してきていて、活動の仕方が大きく変化している。

今また新たな飛躍が求められていると思う。





「年金引き下げ反対」の署名と宣伝行動

「年金毎月支払いに」 富田林市議会で採択

富田林支部 勝井 正

富田林年金者組合が岡田英樹議員（日本共産党）と吉年千寿子議員（無所属）を紹介議員として、富田林市議会に提出していた「年金の毎月支払い実現のための国への意見書提出にかかる請願」は、2017年12月22日開催の本会議で、自民党の山本議員が反対討論、共産党の田平まゆみ議員が賛成討論を行ったあと採決が行われ、10人（共

産党2人、みらい4人、無所属4人）が賛成し、多数で採択されました。反対は自民議員と公明議員でした。これにより富田林市議会として国に意見書を送ることになりました。

山本議員は手数料やシステム変更で経費が多額になり、給付の引き下げや保険料の引き上げに繋がる可能性があるから反対。

田平議員は、年金者組合からの請願は、多くの年金受給者とその家族の思いを代弁したものだ。児童手当や福祉手当も日本では4カ月に1回の支給で、毎月支給となっている欧米諸国に大きく遅れをとっている。システム改修や手数料などの初期費用は47億6千万円の試算となるが毎年かかるコストではない。国が進めるマイナンバー制度はシステム改修などの初期費用3千億円を投じ、維持費は毎年300億円です。

この制度は効率的どころか地方自治体に大きな負担となっている。それに対して、年金を毎月支給にしてほしいの声は切実

であり、ここにこそ制度を改める必要があると主張しました。



寺内町を散策する河南ブロックの皆さん

8支部の合言葉は 「河南はひとつ」

羽曳野支部 鈴木英夫

全日本年金者組合が結成された同年1989年6月に大阪河南の地域（10行政区）に河南支部が誕生しました。行政区単位の動きを強化するため5分会を設置しました。毎年、高齢者の切実な要望書を各市町村に提出し、回答を得るなど地域の高齢者運動をリードしてきました。

また仲間増やしや行楽行事でも行政区（分会）を超えて「河南はひとつ」の合言葉で活動。分会から支部への独立を目指し、切磋琢磨するなか、1992年2月の松原分会独立を期に2004年7月に河南支部を解散、現在の河南ブロック8支部（松原・羽曳野・大阪狭山・太子河南・千早赤坂・藤井寺・富田林・河内長野）になりました。

独立後も15年間の活動で培われた運動の苦労や経験を引き続き交流していこうと「河南地域交流連絡会」が発足。会議は府本部の支部代表者会議開催週の木曜日に定例化しています。

さらに2015年からは「河南大集合」として主催支部の持ちまわりで年1回のイベントを開催。各支部組合員が一堂に会してゲームや史跡巡り、各支部の出し物などで一日楽しく交流しています。

5回目を迎える今年の8月には、千早赤阪支部の担当で金剛山麓の千早川の「マス釣り」をとり組みます。



放置されていた 棚田を復活させた

千早赤阪支部 鈴木鉄雄

千早赤阪村の棚田百選に選ばれている田が、耕作する人が無く放置されていました。

2005年の初め、田の地主の方から米づくりをやらなかと呼びかけられ、千早赤阪村の14軒が名乗りを上げました。この14軒の多くが今の年金者組合員です。



棚田を守りたいと稲刈りに汗流す

無い素人が始めたので大変でした。何から何まで、どうするかを聞き、勉強して始めました。今では3反で40枚ほどの田と、1反の土地を管理し、15年目になり経験もつんできました。

20年ほど未耕作であったところを耕作してほしいと頼まれ、隣接地でもあったのでやり始めたら、大きな土砂崩れを起こし、真夏に汗だくで復旧作業をしたこともありました。

この棚田の特徴は、狭くて細長い急斜面にあるため、大きなコンバインなどは入らず、小さい機械しか使えません。そのため手作業になる部分が多く手間がかかります。

近年はいのしし被害が多くその対策に苦労していますが、昨年電柵を設置し、目標の1000kgの収穫を上げることができました。

近隣で耕作を止める人が増える中で、私たちは毎回、17人から18人が作業をしています。集団でわいわい言いながらしているから続けられたと思います。



近大新分院の存続を求めて運動している有志の皆さん

なくさんといて！

「近大医学部付属病院」

大阪狭山支部 橋本啓修

2017年11月に、近大から突然「大阪狭山新分院計画は断念」全面撤退との報告がありました。近大はそれまで、大阪狭山市には「新分院28科300床を残し堺市に移転する」ことを公的な場でも明言していました。

こうした状況の中で、「近大は当初の約束を守れ」との思いで、「近大新分院（大阪狭山）28科と一般病棟300床実現を求め」署名・宣伝活動を始めました。

部局と3回懇談、近大理事長・病院長に要請書の手交と懇談、「近大病院移転問題を考える集い」を2回開催しました。

運動の広がりの中で昨年9月に、「地域医療機能確保に関する基本協定書」（大阪府・近大・大阪狭山市）が締結されました。また、近大病院跡地（地区活性化）には「医療・介護・子育て支援」ゾーンとして、全世代が交流できる場所になるよう求めていきたいと思っています。

現在も月1回「有志の会」の皆さんと共に、近大病院前署名宣伝行動をしています。この活動に、ご支援ご協力を引き続きお願いします。

この活動は今年5月で1年6カ月となります。この間、多くの関係機関の皆様のご支援により、大阪府知事に署名を提出し府議会に請願要請・府医療関係

資料集



目次

- | | |
|---|-------|
| ■ 「支援する会ニュース」 (年金引き下げ
違憲訴訟を支援する大阪の会) | 33～54 |
| □ 役員名簿 (2014～2018年度) | 55～56 |
| ■ 組合員数推移表 (1990.3～2019.1) | 57～58 |

編集後記

1989年3月18日、大阪年金者組合が全国に先駆けて結成され、今年30周年を迎えます。昨年12月に30周年記念事業実行委員会が結成され、記念フェスタ実行委員会と記念誌作成委員会に分かれ、それぞれ取り組みを進めてきました。

30周年記念誌作成委員会は、結成20年の節目の年には記念誌『軌跡』が、結成25年には記念誌『飛翔』が発行されてきたことを受け、25周年から30周年の「5年史」を作成するため、結成30周年の節目の記念誌作成を行ってきました。

この5年間の大きな出来事は、2015年8月7日、特例水準廃止による年金引き下げは違憲として提訴、2016年8月8日、マクロ経済スライドによる年金引き下げは違憲として第2次提訴を行ってきたことでした。年金引き下げは憲法違反であり、年金問題を国民的課題にしていく取り組みです。この年金引き下げ違憲訴訟以外にも、「大阪都構想の住民投票」「堺北・堺南支部が行政区単位に分離独立」「野党と市民の共同の前進」「春・夏の年金一揆」「年金過少支給が社会問題に」などの取り組み・活動で、『年金者組合ここにあり』の存在感を示すことができた5年間でした。

今後、この『30周年記念誌』が、生き生きと地域に根ざした年金者運動の礎の一つになればと願っています。

【30周年記念誌作成委員】

池尾剛、大内康夫、勝井正、加納忠、鎌田修

鈴木英夫、辻本浩二、中矢道一、橋本広子、村崎秀子



**全日本年金者組合大阪府本部
結成30周年記念誌**

発行日 2019年5月

編集人 年金者組合大阪府本部記念誌作成委員会

発行 全日本年金者組合大阪府本部

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15

大阪グリーン会館6階

TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746

Eメール info@o-nenkin.com